

H 30 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育施設（山麓公園テニスコート、TAC井出山テニスコート、HOS生駒北テニスコートを除く）				
所在地	生駒市門前町9番20号（生駒市体育協会滝寺S.C.）他				
指定管理者名	一般財団法人生駒市体育協会	指定期間	開始日	平成 27 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 2 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 4 年目		
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など				
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の徴収窓口業務、体育施設の維持管理運営など				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
グラウンド・野球場・相撲場	人	250,000	220,295	97.2%	
体育館（会議室・多目的室含）	人	290,000	261,613	96.8%	
武道館	人	20,000	20,160	94.0%	
テニスコート	人	100,000	88,328	93.0%	
プール	人	40,000	21,872	81.8%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	189,812,000	201,059,056	202,260,686
指定管理料		150,332,000	161,132,000	161,132,000
利用料金収入	C	37,000,000	36,238,472	37,084,370
自主事業収入		2,000,000	2,371,888	2,525,004
その他		480,000	1,316,696	1,519,312
支出計	B	187,332,000	201,354,340	201,881,315
指定事業費		187,332,000	195,834,629	197,082,897
うち人件費	D	79,892,474	64,094,648	64,336,303
うち再委託料	E	48,161,252	56,944,722	57,843,108
自主事業費			5,519,711	4,798,418
事業収支	A-B	2,480,000	-295,284	379,371
利用料金比率	C/A	19.49%	18.02%	18.33%
人件費比率	D/B	42.65%	31.83%	31.87%
再委託費比率	E/B	25.71%	28.28%	28.65%
補足説明（必要に応じて記入）				
決算の指定管理業務と体育協会収益事業を合算した収支です。				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	6施設にて利用者に接遇、利用環境、管理運営についてアンケートを行ったところ、4段階評価中99%以上で普通または満足の評価を受けた。		利用環境中の用具・器具に「やや不満」の評価があり、備品の再確認や整備を行い、次年度の備品要求に反映する予定。 また、軽易に対応できるものについては施設職員にて速やかに改善を行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
	利用者のニーズをとらえ、安全かつ衛生的な環境で利用できるよう、顧客満足度の高い管理運営を心掛けている。
市の評価	
	生駒市体育協会にとって本指定管理は2期目の4年目であり、それぞれの施設の特性や利用者ニーズを把握し、それらを反映した管理運営がなされている。また、応募時の事業計画に則り、地元体育協会ならではの利用者目線に立った適切な管理運営がなされた。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
	それぞれの利用者に合った分け隔てのない管理運営を事業計画に沿って行っている。
市の評価	
	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされている。また、市内他の体育施設指定管理者と連携・協力し、市民が利用しやすいよう、創意工夫がなされている。その他、施設の有効利用の観点から、施設利用の少ない時間帯については、目的外での使用等、積極的に市の方針に協力をされている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
	アンケートによる利用者の満足度は概ね高い。備品の経年劣化や老朽化したものは順次可能な範囲で入れ替えを検討してゆく。
市の評価	
	市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であるため、利用者の声を施設の管理運営に取り入れられていることはもとより、協会加盟29競技団体からの要望を、施設の管理運営面において素早く対応されているため、市への苦情や要望等も少なく、利用者の満足度は高いものである。また、北大和グラウンド・野球場再開時の、利用者目線に立った迅速な対応については高い評価をしている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	人件費や用水光熱費、委託料といった固定経費の割合が高く、その他の部分での経費削減は難しいところがある。節電や節水に努めるとともに消耗品などの支出の引き締めに取り組んでいる。
市の評価	
	軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の節減をされている。また、外部委託が必要となる業務については、業務内容を精査し委託業者と調整の上、経費節減を心がけるとともに、使用に影響のない範囲で、使用者に対してこまめな消灯や節水などの周知啓発もされており、環境への配慮も含め節減に努めておられる。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	顧客満足度の高い運営を行い、施設の有効活用を進めて利用料金増を目指したい。また、総合型地域スポーツクラブの収益増、自販機を始めとした自主事業の増も目指す。
市の評価	
	利用者サービスとしての物品販売、自動販売機の設置など収入増加対策を講じられている。今後は、各管理施設独自での事業開催など、それぞれの地域の方々にも利用してもらえるような事業の展開も期待している。その他、現在の利用状況を見ながら、比較的空きが多い施設や時間帯などで、目的外使用や営利使用などでの施設活用を進め、利用料金の増加に努めてもらいたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
	市内在住者で各施設必要な人員を適材適所に配置し、普通救命講習を実施し職員の資質向上を図ったほか、生駒市環境マネジメントシステムに沿った運用を行っている。また、協会加盟競技団体やいこ増ッスルクラブなど、市体育協会できがなしい地域連携を行っている。平成30年度全職員を対象にクレーム対応を中心とした接遇研修を外部講師によって実施
市の評価	
	地元体育協会が指定管理者であるため、市民を積極的に雇用されている。また、協会役員の中には、ECO-net生駒の関係者もあり、本市環境マネジメントシステムを熟知されているため、環境行動の取り組みについては非常に高い評価ができる。なお、地元体協できがなしい地域との連携で、各種事業を開催されている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
	総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」で、各種教室を幼児から高齢者、障がい者までが参加できるプログラムを、各施設の空き時間を活用し実施している。
市の評価	
	自主事業の大きな柱である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の運営の中で、施設利用が少ない時間帯や曜日をクラブの教室等で有効に活用されている。なお、いこ増ッスルクラブの様々な事業展開の結果、子どもから高齢者、障がい者までのそれぞれのニーズに合ったスポーツがより一層推進されているため、今後の更なる活躍を期待している。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
	防災防火対応の専門知識を有する人材を雇用し危機管理マニュアルに沿い、緊急時の連絡体制や役割分担を明確にし、有事の際に早急な対応可能な体制を整えている。全職員普通救命講習を受講済み。個人情報を取り扱う窓口業務やいこ増ッスルクラブの会員管理については特に注意を払っている。
市の評価	
	スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用については評価できる。また、普通救命講習会を開催するなど、利用者の安全確保を第一に考えた取り組みをされたことは高く評価できる。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	
平成30年度は若干の赤字となったが、各種経費の見直しやいこ増ッスルクラブの活性化や施設の利用の増加に取り組み、収益の向上を図る。	
市の評価	
今期から利用料金制を導入しているため、年度によって施設の利用料収入に若干の違いが生じることが予想されるが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をなされている。今後は、施設の空き時間帯を利用した目的外使用や営利使用などの活用を進めるとともに、総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の継続的な活動をはじめ、市民のスポーツ活動が促進されるような自主事業の展開を期待する。	

6 指定管理者の財務の状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産	21,592,885	20,536,698	20,078,148
流動資産	21,592,885	20,536,698	20,078,148
固定資産	0	0	0
負債	1,611,158	175,600	23,500
流動負債	1,611,158	175,600	23,500
固定負債	0		
純資産	3,000,000	3,000,000	3,000,000
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	2,826,091	4,798,418	5,519,711
経常利益	-626,864	379,371	-295,284

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本比率 純資産/資産×100	13.9%	14.6%	14.9%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	53.7%	5.9%	0.8%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1340.2%	11695.2%	85438.9%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	13.1%	23.4%	27.5%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	-2.9%	1.8%	-1.5%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
<p>利用者に安心して利用して頂けるよう、職員のスキルアップをはかり、6施設の均一かつ良質なサービスと満足度の向上を目指す。</p> <p>財務状況については施設の空き時間帯を有効活用して利用者増につなげるほか、支出の見直しや収益事業の活性化、自主事業増などに取り組み、収入増をはかりたい。</p>
市の評価
<p>市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であることが、市内のスポーツ愛好家にとって、より良いスポーツ環境を作り出すことに繋がっていると考えている。なお、指定管理者として2期目を迎えており、しっかりと利用者ニーズを把握されていることから、利用者目線に立った管理運営となり、多くの施設利用者に喜ばれている。また自主事業の中心的な事業である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」については、事業内容も年々充実してきているが、今以上に市や関係団体と連携・協力し、時代やニーズに合わせた事業を行い、健全なクラブとなるよう会員の増加を目指してもらいたい。</p>